ARLISS 参加に向けての技術的レビューの案内

ARLISS 日本側代表　中須賀真一　（東京大学）

１．目的

本年度 9 月 21～23 日に実施される ARLISS に参加するチームが、十分にフライト実験に値する CanSat をアメリカに持っていけるよう、事前に技術的なレビューを実施する。

目的は、①ARLISS 日程までに実験に値する CanSat が作れるかどうかを判断し、間に合いそうにない CanSat は現地での参加を認めない、②ARLISS 当日までに改修すべき点をフィードバックする、の２点である。

２．レビュー項目

１）システムの全体構成、使用部品・機器などの説明

２）レビュー時点までの完成状況（正直に）

３）ARLISS 当日までの最終調整のスケジュール、体制（人数なども）

４）実施してきた試験（単体試験、システム試験、フィールド試験など）およびその結果：能代での Comeback Competition に参加する大学は、その成果をまとめる。

ミッション内容は問いません。「確実に動く」ことを目標にレビューします。

３．プロセス

① ARLISS への参加を希望するチームは、上記１）～４）を**正直に**まとめた報告書を作成。（A４で５ページ以内）能代で実験するチームは、その成果も含めて報告書にまとめるように。

② 上記の報告書（WORD ファイル）を８月１５日までに電子メールで中須賀まで送ること。以下のアドレスあて。

nakasuka@space.t.u-tokyo.ac.jp

③ 能代実験では、レビュー者が実物を見てレビューするので、そのつもりでいるように。（ローバーは東北大学の吉田先生にレビューしていただく予定）

④ ARLISS 参加を許可できるかどうかの審査結果は８月１８日までに送付する。

⑤ ARLISS 当日に向けての改修等のサジェスチョンは８月２３日までに送付する。

アメリカへの航空券は早めに買っておくこと。④ではまだ１ヶ月前以前なので、もし参加できない場合でもキャンセルは効くと思われる（要確認のこと）。

以上。　質問などは上記中須賀まで。